

「早通地域実行計画」の検討の進め方 (ワークショップと地域別の「実行計画」の関係)

● 地域のみなさんと協働で「実行計画」を策定

本市では、人口減少による税収減、それに伴う公共施設の維持・更新費用の増加によりすべての施設をこれまでどおり維持することが困難な状況です。

これらの背景を踏まえ、公共施設等の効率的な利活用を図るため、平成 27 年度に「財産経営推進計画」、令和元年度に「新潟市公共施設の種類ごとの配置方針」を策定しました。

財産経営推進計画にかかる公共施設の基本方針

総量削減

施設にかかる費用の削減や、需要に見合った施設規模での更新、集約化・複合化による**施設の見直し**などを行う。

サービス機能の維持

単一目的の施設から多機能化・複合化施設への転換を図り、施設規模は縮小しても、スペースの有効活用などにより**サービス機能を可能な限り維持**する。



この基本方針に沿いながら、地域のみなさんとの話し合いを通じて、早通地域の具体的な公共施設の見直し計画「**地域別実行計画**」を作ります。

● 早通地域でのこれまでの議論

北区では、児童館の老朽化や市全体の児童館施設の今後の方向性から、今後のあり方を示す「北区児童館再編計画」(資料 10)を令和5年4月に公表しました。

計画の中で、早通児童センターの今後のあり方について、地域のみなさんと検討会(準備会)を立ち上げ話し合いを行うこととし、令和5年度に計2回、今後の検討をどのように進めるのかを決定する検討会を開催しました。



地域の公共施設全体のあり方について議論を進める「地域別実行計画」の策定に移行し、その中で早通児童センターや同じく老朽化している早通コミュニティセンターなど、早通地域内の公共施設の今後についてあわせて議論を進めていくこととなりました。

市は早通地域検討会準備会でいただいたご意見や思いを踏まえ、慎重に検討を進める必要があることを再認識しました。

今回のワークショップでは、早通児童センターをはじめ、早通コミュニティセンター等の早通地域内の公共施設について、現状と課題や地域で将来求められる役割を整理した上で、今後どのような形で公共サービスを展開するのが望ましいかを、みなさんと検討していきます。

「早通地域検討会準備会」でのご意見は、資料 8、資料 9 の早通地域検討会準備会 報告 第 1 号、第 2 号をご参照ください。

● 検討のスケジュール

ワークショップをはじめとする早通地域のみなさんとのコミュニケーションで得られた成果をもとに、次のステップに分けて検討を行い、「早通地域実行計画」を策定します。

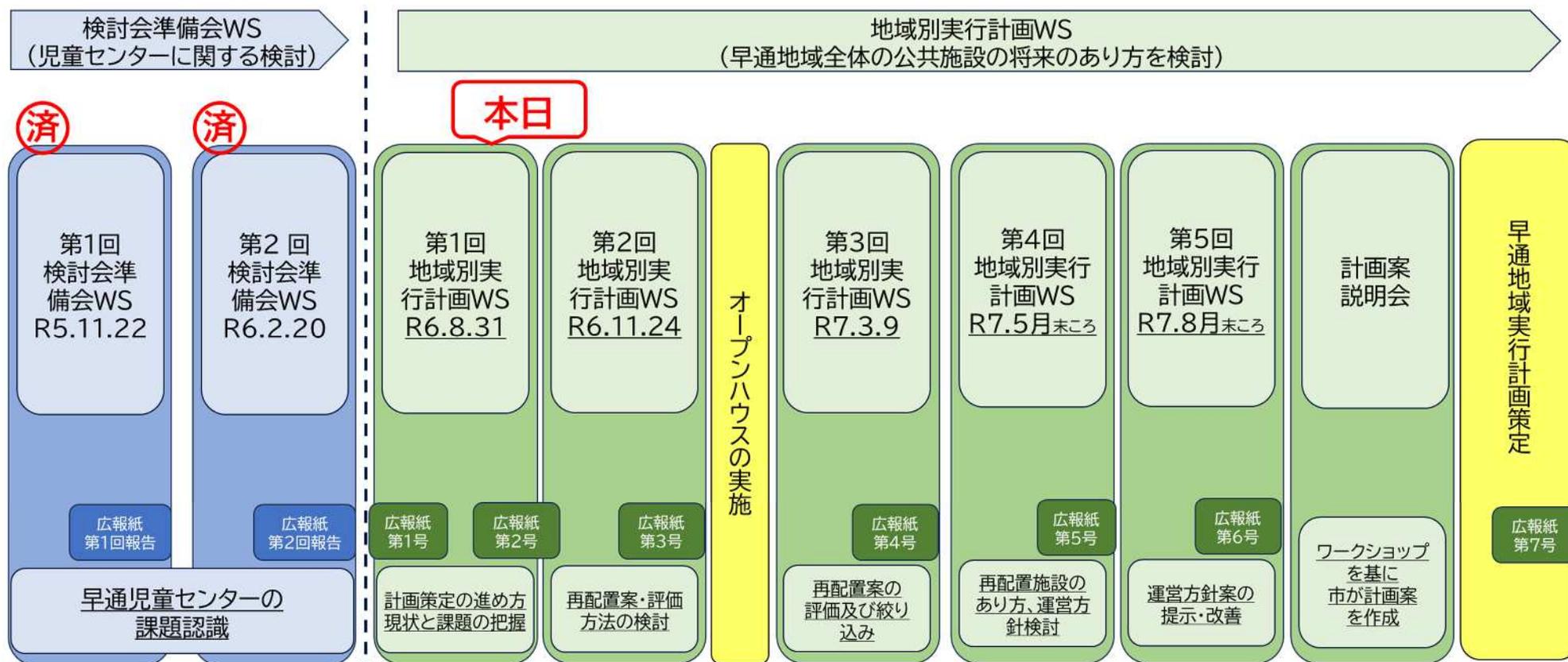


図 検討会のスケジュール

協働で行う作業

- 計画策定の進め方（今回）

ワークショップの進め方に関するご懸念・ご期待をお伺いします。

- 早通地域の公共施設の課題（今回）

解決すべき施設や地域の課題を整理します。

- 再配置案の検討（第2回）

市が複数提示する実行可能な再配置案を検討します。

- 評価方法の検討（第2回）

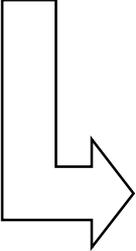
再配置案をどのような視点で評価するか検討します。

- 再配置案の絞り込み（第3回）

複数の再配置案を比較・評価し、絞り込みます。

- 再配置施設のあり方・運営方針検討（第4回、第5回）

絞り込んだ再配置施設のあり方を検討します。



これらを基に、市が早通地域実行計画を策定します。

● 地域のみなさんとのコミュニケーション

地域別の「実行計画」の検討は、地域のみなさんとさまざまなコミュニケーションを取りながら進めていきます。

WS:ワークショップ

ステップごとの検討内容について、グループで話し合いをしていただき、その成果を取りまとめます。

広報紙(NL:ニューズレター)

ワークショップや市の検討の状況を広報紙で地域のみなさんにお伝えします。

パネル展示型説明会(OH:オープンハウス)

普段施設を利用していない方々からも広く意見を収集するため、広く市民が利用する施設にパネルを展示します。

第1回、第2回の検討内容をお示しし、今後のワークショップや地域実行計画に反映します。

● ワークショップの概要

- ・ワークショップは、下記の日程で開催する予定です(変更する場合があります)。
 - 令和6年8月31日(土)
 - 令和6年11月24日(日)
 - 令和7年3月9日(日)
 - 令和7年5月末ころ
 - 令和7年8月末ころ
- ・会場は「早通コミュニティセンター」の予定です。
- ・事務局は「財産活用課、北区地域総務課」が担当します。
- ・ワークショップには、公共施設の利用者、地域コミュニティ協議会、応募をいただいた方などが参加します。
- ・同じ参加者に継続してご参加いただき、議論を深めていきます。
- ・ワークショップでは、参加者のみなさんからグループ内で自由に話し合ってください。
- ・傍聴者や報道陣がワークショップを傍聴・取材することがあります。

● 会議の進め方

- ・グループでの話し合いが円滑に進むよう、第三者的立場のファシリテーターが司会進行します。
- ・ワークショップではグループごとに話し合いを重ね、各回の最後に各グループの結果を発表。後日、成果として取りまとめます。
- ・グループでは自由で前向きな話し合いをお願いします。
- ・市に対する要望や陳情の場ではありません。
- ・ワークショップでの検討内容を録音、撮影しますのでご了承ください。

● ワークショップの成果

- ・ワークショップ各回の成果については、記録として残します。
- ・ワークショップでの話し合いの成果は、ステップごとに市が検討する際の基礎情報として活用します。

● ファシリテーターの紹介

みなさんの話し合いを円滑に進めるために、第三者的立場から議事進行や取りまとめをお手伝いします。よろしくお願いします。

宮 沙織	NPO 法人 aisa
増田 望未	NPO 法人 aisa
三井田 隆	NPO 法人 aisa
滝澤 葉月	NPO 法人 aisa
会田 理恵子	NPO 法人 aisa
上野 宏太郎	NPO 法人 aisa

● ワークショップを進めるにあたっての留意事項

- ・話し合いに積極的に参加しましょう
- ・自分の考えを率直に述べましょう
- ・前向きな思考で発言しましょう
- ・評論家ではなく当事者として関わりましょう
- ・気持ちよく運営できるように協力しましょう
- ・「私」個人が良くなるのではなく「まち」全体が良くなるアイデアを一緒に考えましょう
- ・発言時間が長くないようメンバーに配慮しましょう
- ・議論や運営に貢献する姿勢を讃えましょう